

『子供』、『子ども』、『こども』、いずれが適切か？」へのコメント

記事を目にしてくださった方から、早速ヒント、コメントをいただきました。

参考までに紹介します。

なお、更にコメント等をいただきましたら、随時当ファイルに追加・掲載します。

2008. 3. 17. 阿部幸泰

⑨「こども」の表記について、私は「子ども」だったり「こども」だったりします。

「子供」は私も大人の付随という見方を聞いたことがあったので、使わないようにしています。

⑧「子供」「子ども」の表記について、今更ですが、私の思うところをメールします。

以前、「子供」の「供」という漢字は、「供える」「お供え物」という意味合いのある漢字であり、子供は供え物じゃない！と聞いたことがあって、私は「子ども」と表記していました。

改めて、「供」を調べてみると、

1、そなえもの

2、ささげる

などの意味合いがありました。

また、病院では、子どもも読めるようにと、「こども」とひらがな表記になっています。

⑦さて、私はここ10年ほどは「子ども」と表記してきました。

熱心に活動していらっしゃるある先生が「子ども」と表記されていて、「供」の字はその示す意味がよくないから、というような説明を受けたのですが、詳しいことをよく覚えていません・・・。

ちなみに、その先生は「子ども」の複数形を「子ども達」ではなく、「子どもたち」と表記なさっていました。

⑥子供、子ども、こどもについては、学校でも使うことの多い言葉で、これまで「子供」と書かないと文書の決裁をしてくれない校長もいたりして、もめたことも思い出します。

今回のメールで阿部先生が「子供」の字について検証されているのを見て、なるほどと勉強させていただきました。

「供」の字は時代的に新しいものなのですね。

まず私が気にしたのは「こどもの日」です。

公的な表現で漢字を一切使用しなかったのは、どちらの字にも、使用に反対する一定の意見や勢力がアルのだな、と感じていました。

その上で今、自分が使うのは「子ども」です。

今年はいみじくもねずみ年です。「子」の年です。

この「子」には「種」とか「物事の始まり」という意味があるのだと祖父から教わっていました。

なので、「子」は自分的には使って良い、と判断しています。

「供」については、やはり人権的に不適切になる表現と考えますので使っていません。文部科学省も「子ども」を使うというのは、自分の不勉強で知りませんでした。

そういえば、これまで「一人ひとり」という書き方をしていたのですが、学習指導要領が「一人一人」と表現したとたん、「一人一人」とみんなが書くようになりました。

へんな感じです。

⑤私もこのことについて、気になっておりました。

保育科の教科書には、見たところすべて「子ども」という表記がされています。

この理由について友人に尋ねてみたところ、こんなことを言っていました。

「子供」という書き方だと、子供を大人より下に見ているような気がする。

きっと、「供」という部分がそう見えるのかもしれない。

それを聞いてから、私は「子ども」と書くようにしています。

保育科に入るまでは、この様な事、気にもしませんでした。

参考にならないかもしれませんが、お送りしました。

④私は『子ども派』です。

高校の授業で『ジェンダー』というものがありました。

その中で、漢字のジェンダーについて学んだ時に、『子供』がでてきました。

阿部さんがおっしゃっていた通り、子供の『供』には付随物の意味があると習いました。

私は、その日から『子ども』という表記にしました。

そして、大学で詳しく保育について学んでみて、やはり『供』は使わない方が正しいのでは、と考えるようになりました。

なぜなら、保育は子ども主体でなければいけないからです。

親の付随物ではなく、子どもたちが自主性をもった保育にしなければいけないと私は思います。

③「こども」の表記の件について拝見しました。

このことに関して、私も以前から気になっていたため、返信させていただきます。

私は「子ども」と表記しています。

以前は「子供」と表記していましたが、何かの番組で「子供」の表記はあまり適切ではないと言うことを目にしたのがきっかけでした。

「子供」の表記では“半人前の大人”を意味するとされ、不適切であるのでは？との意見に賛同したため、私は「子ども」の表記を使うことにしています。

「障害」の表記の仕方にもいくつかの違いがあるように「こども」の表記もその人の想いにより、変わってくるものなのではないでしょうか。

②私は意識的に「子ども」を使うようにしています。

保育科でそのように指導されたというのがありますが、「子供」は「子を神様に供える」という意味合いがあるからあまり良くない、と以前本で読んだことがあるからです。

でも、阿部さんの HP の根拠の数々を読んで、どの表記の仕方が正しいとは一概には言えないんだなァと考えさせられました。

同じものを指しているのに表記ひとつで意味が違ってくるとは日本語って難しい(奥が深い)ですね…(￣^￣;) )

②への私（阿部）の返信

「その人が使う言葉には、その人の思想が含まれている」といわれています。

語彙は、その人がどの表記を使っているかというよりは、それを使うことでその人がどういった想いを伝えようとしているかが大事な気がしています。

かといって、使う語彙を相手に強制すべきでないと思います。

相手がその想いをどう受け止め、どう使うかは、それぞれ相手が考えることと思います。

どの表記を使っているかということよりは、それを切っ掛けとしてやりとりすることの方が大事だと思います。

コミュニケーションとは、単に情報を伝えることではなく、互いの想いを伝え合うことですものね。

①「こども」「子ども」「子供」ですが・・・私も使い分けています。

私の場合ですが・・・年齢によっての使い分けでそれと言った理由はありません。

「こども」0歳～3歳まで。

「子ども」4歳～小学校3年生くらいまで。

「子供」それ以降です。

あまり参考にはならないかと思いますが・・・私の使い方です。